各コースの概要

【 放射線の安全取扱いに関する全学講習会(講義コース) 】

【 放射線の安全取扱いに関する全学講習会(実習コース) 】

本学で放射線やRIを取り扱うための教育訓練であり、この教育訓練は法令で義務付けられております。この講習会を受講し、放射線業務従事者として登録されることで、密封RI、非密封RI(放射性薬剤など)、放射線発生装置(加速器)の取り扱いが出来るようになります。

【参考】各講習会と修了後に取扱える施設との対応(次ページ)

【参考】本学の放射線取扱者としての登録までの流れ(次々ページ)

【 エックス線の安全取扱いに関する全学講習会 】

本学でエックス線装置(1 MeV 以下)を取り扱うための安全教育です。「放射線の安全取扱いに関する全学講習会」を受講済の方は、「エックス線の安全取扱いに関する全学講習会」を別途受講する必要はありません。

【参考】各講習会と修了後に取扱える施設との対応(次ページ)

ご自身がどちらのコースを受講すればよいのかわからない場合は、指導教員または利用する施設の管理者にお尋ね下さい。

【参考】 各講習会と修了後に取扱える施設との対応

●密封放射性同位元素の取扱い

- ⇒ 『放射線の安全取扱いに関する全学講習会（講義コース）』と
『放射線の安全取扱いに関する全学講習会（実習コース）』の2つの講習会の修了が必要

●非密封放射性同位元素（放射性薬剤等）の取扱い

- ⇒ 『放射線の安全取扱いに関する全学講習会（講義コース）』と
『放射線の安全取扱いに関する全学講習会（実習コース）』の2つの講習会の修了が必要

●放射線発生装置（加速器）（管理区域に立ち入る場合）の取扱い

- ⇒ 『放射線の安全取扱いに関する全学講習会（講義コース）』と
『放射線の安全取扱いに関する全学講習会（実習コース）』の2つの講習会の修了が必要

●放射線発生装置（加速器）（管理区域に立ち入らない場合）の取扱い

- ⇒ 『放射線の安全取扱いに関する全学講習会（講義コース）』の修了が必要

●エックス線装置（1MeV未満）の取扱い

- ⇒ 『エックス線の安全取扱いに関する全学講習会』または
『放射線の安全取扱いに関する全学講習会（講義コース）』のどちらかの講習会の修了が必要

●表示付認証機器の取扱い

- ⇒ 本学の放射線及びエックス線の安全取扱いに関する全学講習会の受講は不要

●放射光(SOR)施設（ナノテラス除く）の取扱い

- ⇒ 『放射線の安全取扱いに関する全学講習会（講義コース）』の修了が必要

●ナノテラス（放射線業務従事者）における取扱い

- ⇒ 『放射線の安全取扱いに関する全学講習会（講義コース）』の修了が必要

●ナノテラス（管理区域外BL利用者（取扱等業務従事者））における取扱い

- ⇒ 本学の放射線及びエックス線の安全取扱いに関する全学講習会の受講は不要

取扱い施設	修了が必要なコース
密封放射性同位元素	講義コース+実習コース
非密封放射性同位元素（放射性薬剤等）	講義コース+実習コース
放射線発生装置（加速器）（管理区域に立ち入る場合）	講義コース+実習コース
放射線発生装置（加速器）（管理区域に立ち入らない場合 ⁺ ）	講義コース
エックス線装置（1MeV未満）	講義コース or エックス線コース
表示付認証機器	*本学の全学講習会を受講する必要はありません
放射光(SOR)施設（ナノテラス除く）	講義コース
ナノテラス 放射線業務従事者	講義コース
ナノテラス 管理区域外BL利用者(取扱等業務従事者)	*本学の全学講習会を受講する必要はありません

⁺放射線発生装置(加速器)の取扱いは、大きく分けて「管理区域に立ち入る場合」と「管理区域に立ち入らない場合」の2つがあります。「管理区域に立ち入らない場合」というのは、(管理区域の外にある)オペレータ室において加速器を運転したり、加速器のビームを管理区域外から利用するような場合ですが、これに該当するケースは多くありません。詳細は作業をする施設にお問合せ下さい。
 学内で放射線発生装置(加速器)を有しているのは、工学研究科と先端量子ビーム科学研究センターのみです。学外ではKEKやJ-PARCなどがあります。
 なお、ナノテラスは「ナノテラス 放射線業務従事者」と「ナノテラス 管理区域外BL利用者(取扱等業務従事者)」の2つの区分があり、前者が「管理区域に立ち入る場合」に、後者が「管理区域に立ち入らない場合」に相当します。

修了したコース	取扱い施設								
	密封放射性同位元素	非密封放射性同位元素(放射性薬剤等)	放射線発生装置(加速器)(管理区域に立ち入る場合)	放射線発生装置(加速器)(管理区域に立ち入らない場合)	エックス線装置(1MeV未満)	表示付認証機器	放射光(SOR)施設(ナノテラス除く)	ナノテラス放射線業務従事者	ナノテラス管理区域外BL利用者(取扱等業務従事者)
講義コース + 実習コース	✓	✓	✓	✓	✓	✓*	✓	✓	✓*
講義コース	×	×	×	✓	✓	✓*	✓	✓	✓*
エックス線コース	×	×	×	×	✓	✓*	×	×	✓*

* 本学の全学講習会を受講する必要はありません

【参考】 本学の放射線取扱者としての登録までの流れ

① 放射線取扱者としての登録を、各部局（事業所）の担当部署に申請する。

注1：登録を申請すべき部局は、必ずしも事務上の所属部局と同じとは限りません。全学講習会の受講申込みの前に、同じ研究室の職員や所属部局の放射線管理部署などに、登録申請先の部局（事業所）を必ず確認して下さい。

【例1】 工学部や工学研究科の学生で、指導教員が「金属材料研究所」や「多元物質科学研究所」などに所属している場合は、登録申請を「金属材料研究所」や「多元物質科学研究所」に行う。

【例2】 環境科学研究科に所属する場合は、「工学研究科・工学部」に登録申請を行う。

注2：全学講習会の「受講申込フォーム」中の「放射線作業従事者登録部局」の欄では、この申請先の部局（事業所）を選択して下さい。

注3：部局（事業所）により、②、③の後に行う場合もあります。各部局（事業所）の担当部署の指示に従って下さい。

② 全学講習会を受講する。

注4：以前所属していた大学等で同様の教育訓練を受けた場合には、全学講習会の受講が必要でない場合があります。詳しくは、①で説明した登録申請先の部局（事業所）の担当部署にお訊ね下さい。

注5：受講完了者のリストは受講完了した翌週月曜日（休日の場合は翌平日）には部局の担当部署が閲覧できるようになります。

③ 必要な健康診断、教育訓練を受ける。

注6：部局（事業所）により、①、②の前に行う場合があります。①で説明した登録申請先の各部局（事業所）の担当部署の指示に従って下さい。

④ 放射線取扱者として登録される。

登録後は、登録先の各部局（事業所）から、以下のような管理を受けることになる。

- ・ 被曝量の管理を受ける（個人被曝線量計を毎月配布される。毎月の被曝量が通知される。）。
- ・ 定期的（年2回程度）に、健康診断の受診を指示される。診断結果が通知される。
- ・ 定期的（年1回程度）に、再教育訓練の受講を指示される。ただし、複数の部局や研究機関（事業所）の放射線施設を利用する場合には、それぞれの施設から教育訓練の受講を指示される。
- ・ 年度ごとに、登録の更新を受ける。
- ・ その他

放射線の安全取扱いに関する全学講習会（講義コース）（実習コース）
 エックス線の安全取扱いに関する全学講習会 項目・時間数

講義コース

実施項目名	法定項目(※)	時間数
・放射線の人体に与える影響	イ 放射線の人体に与える影響	30分
・放射線概論	ロ 放射性同位元素等又は放射線、発生装置の安全取扱い	2時間
・放射線の安全取扱い		
・放射性同位元素等の規制に関する法令及び学内の安全管理体制	ハ 放射線障害の防止に関する法令、及び放射線障害予防規程	30分

実習コース

実施項目名	法定項目	時間数
・放射線施設への立ち入り ・サーベイメータの使い方 ・非密封 RI の安全取扱い	ロ 放射性同位元素等又は放射線、発生装置の安全取扱い	2時間

エックス線コース

実施項目名	法定項目	時間数
・エックス線の安全取扱い	_____	1時間
・エックス線取扱いに関する法令	_____	30分

(※)

放射性同位元素等の規制に関する法律施行規則

第二十一条の二

(2025/06/04)